

令和7年8月19日
JA みづま
久留米普及指導センター

【水稻】

＜イネカメムシ＞

近年、生息地域が拡大しており、水稻の収量・品質へ深刻な被害をもたらすカメムシです。出穂頃の加害により、不稔や斑点米が発生します。

これまでみづま地域で確認されていませんが、周辺地域で発生が増えているため、圃場で確認した場合、直ちに防除を行ってください。出穂期（圃場全体の5割が出穂した日）、および出穂期の7日後の防除が効果的です。



イネカメムシ成虫



イネカメムシ幼虫



不稔の穂



斑点米

【大豆】

1. 生育概況

適期に播種が行われ、乾燥傾向ではあるものの全体的に生育は順調です。今後は病害虫の発生状況に注意し、適期防除を行いきましょう。

2. 病害虫防除

一部の圃場でハスモンヨトウによる白変葉が確認されています。気温が高く、降雨が少ないため、発生量が増加することが懸念されます。

ふ化幼虫が群集している白変葉があれば早めに手取りで除去し、白変葉が目立ってきたら、下記薬剤で防除を行ってください。



ハスモンヨトウの幼虫



白変葉

(R7年8月7日現在)

防除時期	対象	薬剤名	希釈倍数	散布液量（10a 当たり）
8月中下旬	ハスモン ヨトウ	ノーモルト 乳剤	2,000 倍	100～300 ℓ
			8～16 倍 （無人航空機）	0.8 ℓ